

埼玉県立近代美術館 The Museum of Modern Art, Saitama

NEW VISION SAITAMA 5 迫り出す身体 The Emerging Body

2016年9月17日～11月14日

「ニュー・ヴィジョン・サイタマ」は、活躍中の埼玉県ゆかりのアーティストに焦点をあて、今日の美術動向をリサーチすることを目的に継続してきた展覧会です。5年ぶり5回目の開催となる今回は、「迫り出す身体」を副題とし、1980年代生まれの新進気鋭のアーティスト7名の作品を通して、多様化する日本の現代アートの一断面を浮かび上がらせてます。

情報化が高度に進展した今日、私たちの生活や意識もテクノロジーの進歩に合わせて大きく変容しています。手のひらの上の端末を通してあらゆる情報を摂取し、また発信できる時代において、直接の体験から何かを実感する、あるいは、温もりや重さといったなまの感覚を通して世界を理解することへの欲求は増しているはずでず。本展に参加する7名のアーティストは、クールな情報として世界を認識するのではなく、各々に固有の身体を抛りどころとして眼前の世界に触れ、その経験や感覚を作品に昇華させている点に特徴があります。カンヴァスに線を引き色を乗せる、一本の材からかたちを彫りだす、自らの行為や身振りを映像にとどめ作品化する、原初的な写真技法を用いて不可視のものに実体を与える。それぞれの媒体と手法は異なりますが、その作品群は複雑さを増す世界の姿を自らの手の届く限り掬いあげようとする真摯な試みの証といえます。

この展覧会では、同時代を生きる若き表現者の制作を、本展のための新作を交えて紹介します。7つの身体を経由してまだ見ぬ新たなイメージが立ち現われる現場を皆さまと共有できれば幸いです。

- ▶ 会 期 2016年9月17日(土)～11月14日(月・県民の日)
休館日・月曜日(9月19日、10月10日、11月14日は開館)
- ▶ 開館時間 10:00～17:30(展示室への入場は17:00まで)
- ▶ 観 覧 料 一般1100円(880円)、大高生880円(710円)
* ()内は団体20名以上の料金。中学生以下、障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクション(1F展示室)も観覧可能。
- ▶ 主 催 埼玉県立近代美術館
- ▶ 開催協力 さいたま市
- ▶ 協 力 J R東日本大宮支社、FM NACK5

■ 出品作家プロフィール

▶ 青木真莉子 AOKI Marico 映像・インスタレーション

1985年埼玉県蓮田市生まれ、東京都在住。儀式を思わせる映像を中心に、さまざまなメディアを駆使したインスタレーションを展開。あらゆる事物に宿るそれぞれ固有の世界を、混沌の中から立ち上がらせる。

図版1：《シロクロ》2016年 © Marico Aoki



1

▶ 小左誠一郎 OSA Seiichiro 絵画

1985年静岡県生まれ、埼玉県さいたま市在住。小左の絵画は、カンヴァスに相對しての「反応と反射」の繰り返しから生起する。一見シンプルにもみえる形象を構成するストローク一つひとつが、微かな揺らぎや温もりを感じさせる。

図版2：《無題》2016年



2

▶ 小畑多丘 OBATA Taku 彫刻

1980年埼玉県所沢市生まれ、所沢市在住。ブレイクダンスをテーマに等身大の木彫作品を制作。躍動する身体のある一瞬が、空間との豊かな関係性を孕むフォルムへと変容する。

図版3：《B-BOY Down jacket NANAME》2016年 installation view: PKCZ Gallery Store



3

▶ 鈴木のぞみ SUZUKI Nozomi 写真

1983年埼玉県さいたま市生まれ、川口市在住。原初的な写真術によりガラス越しの風景が浮びあがった窓。かつてその窓から見えていた風景が、私たち個々の記憶と結びつきながら立ち現われるようなインスタレーションを発表する。

図版4：《Other Days, Other Eyes》(部分) 2015年 Photo: © Norihiro Ueno



4

▶ 高橋大輔 TAKAHASHI Daisuke 絵画

1980年埼玉県越谷市生まれ、小川町在住。カンヴァスやパネルに絵具を分厚く塗りつけた作品で高い評価を得ている高橋大輔。自らの制作の根源まで思考を沈潜させ、新たなアプローチでの展示を行う。

図版5：《無題(ケヴクサ)》2014-15年 Courtesy of HARMAS GALLERY 撮影：椎木静寧



5

▶ 中園孔二 NAKAZONO Koji 絵画

1989年神奈川県生まれ、2014-15年埼玉県さいたま市に居住、2015年没。多様な技法、型にはまらないアプローチで次々に生み出された鮮烈な絵画。自由さと緻密さ、荒々しさと静けさが同居する中園の絵画世界を、未発表作品を中心に紹介する。

図版6：《無題》2012年(個人蔵) © Koji Nakazono, Courtesy of Tomio Koyama Gallery



6

▶ 二藤建人 NITO Kento 彫刻・映像・インスタレーション

1986年埼玉県朝霞市生まれ、和光市在住。「触れる」という直接的な体験に根差した制作を展開。世界と接触する二藤の身体をとおして、私たち自身の肉の重み、肌の温もりも、新たな実感を伴うものとなる。

図版7：《私の愛は私の重さである 森の家族》2015年



7

■ 展覧会の見どころ

▶ 新進気鋭のアーティスト 7 名の新作や近作を紹介

本展覧会では、近年評価の高まる 1980 年代生まれの新進気鋭のアーティスト 7 名の新作や近作を紹介します。7 名の表現方法は絵画、彫刻、写真、映像、インスタレーションと多様ですが、いずれも身体感覚を揺さぶられる体験を鑑賞者に提供してくれることでしょう。

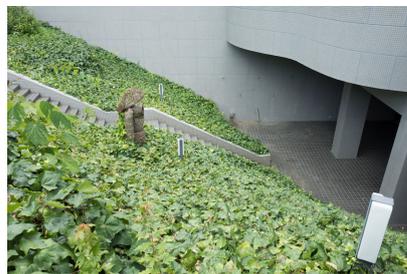
▶ 美術館全体を使った展示

本展覧会は、展示室内だけでなく、美術館全体や美術館の建つ北浦和公園にまで展開します。「埼玉県立近代美術館」という場と 7 名のアーティストが出会って初めて実現した企みを、どうぞお楽しみください。

展示室以外の展示箇所例



吹き抜けセンター・ホール



サンクンガーデン



中銀カプセル（北浦和公園内）

■ 出品作品数

約 130 点（予定）

青木真莉子（映像・インスタレーション）15 点／小左誠一郎（絵画）6 点
小畑多丘（彫刻・写真）4 点／鈴木のぞみ（写真）12 点／高橋大輔（絵画）40 点
中園孔二（絵画）45 点／二藤建人（彫刻・映像・インスタレーション）6 点

I 関連事業

▶ アーティスト×クロス×トーク

出品作家とゲストが展示作品について語り合います。

- ①10月23日(日) 小畑多丘×宇多丸 (RHYMESTER/ラッパー、ラジオパーソナリティ) ×松下徹 (アーティスト)
 - ②10月30日(日) 青木真莉子×秋山幸 (画家) ×戸田祥子 (美術作家) *13:00~14:00
 - ③11月3日(木・祝) 二藤建人×栗田大輔 (美術批評)
 - ④11月5日(土) 小左誠一郎×兼平彦太郎 (キュレーター)
 - ⑤11月6日(日) 鈴木のぞみ×新井卓 (写真家)
- 各回(②を除く)とも15:00~16:00 /2階展示室/企画展観覧料が必要です。

▶ 山川冬樹 ライブ・パフォーマンス+レクチャー「音響身体論 004」

自らの声や身体を媒介に視覚、聴覚、皮膚感覚に訴えかける表現で、音楽/現代美術/舞台芸術の境界を超えて活躍する山川冬樹。音との関わりから身体を考察するレクチャーとライブ・パフォーマンスを行います。/出演: 山川冬樹

9月18日(日) 14:00~16:15 (開場は30分前)

2階講堂/料金: 無料/定員: 50名 (事前申込制、先着順)

▶ 阿目虎南 (大駱駝艦) 舞踏パフォーマンス「蝶番」

磨赤兒率いる舞踏集団・大駱駝艦より、阿目虎南が自ら振付・演出を手掛ける独舞作品。四方を客席に囲まれた舞台上。肉体の内側より矛盾する虚空の実態に対峙し、迫り出す身体とは! /出演: 阿目虎南 (大駱駝艦)

9月25日(日) 17:30~18:15 (開場は30分前)

2階講堂、北浦和公園/料金: 無料/定員: 50名 (事前申込制、先着順)

▶ 神さまのお面を作って変身! 神さまフェスティバル 2016

色紙を貼ったり、絵具を塗ったりして神さまのお面を作ろう! 出来上がったお面をつけて、神さまに変身! みんなで踊ったり、お話したり、記念写真も撮ってみよう。

講師: hanage (青木真莉子、秋山幸、戸田祥子)

対象年齢: 4歳~小学生 (保護者のお手伝い参加可)

10月30日(日) 14:30~16:30

3階創作室/料金: 無料/定員: 15名 (事前申込制、先着順)

▶ たとえば、美術館に3日続けて行ってみるとする。

アーティストユニット L PACK のプロデュースで、美術館の前庭をメイン会場に、アーティストとパブリックが豊かな交流を繰り広げるパビリオンをつくり、様々なイベントを開催します。

10月8日(土)、9日(日)、10日(月・祝)

特設サイト URL <http://www.lpack.jp/momas2016/>

■ 広報用画像

本プレスリリース 1 ページの作品画像を、広報用としてご提供いたします。掲載にあたっては以下にご留意ください。

- ・ 画像はデータにて提供いたします。ご請求はメールで、kouhou@aria.ocn.ne.jp（広報担当・落合）まで。
- ・ 写真を掲載する場合、キャプション・クレジットを明記してください。また、トリミング、文字載せ等はしないようお願いいたします。
- ・ 掲載誌を 1 部、広報担当までお送りください。
- ・ インターネットに掲載する場合、無断転載禁止の旨を明記の上、複製や保存ができないよう加工してご使用ください。

▶キャプション・クレジット

1. 青木真莉子《シロクロ》2016年 © Marico Aoki
2. 小左誠一郎《無題》2016年
3. 小畑多丘《B-BOY Down jacket NANAME》2016年 installation view: PKCZ Gallery Store
4. 鈴木のぞみ《Other Days, Other Eyes》(部分) 2015年 Photo: © Norihiro Ueno
5. 高橋大輔《無題(ケヴクサ)》2014-15年 Courtesy of HARMAS GALLERY 撮影: 椎木静寧
6. 中園孔二《無題》2012年(個人蔵) © Koji Nakazono, Courtesy of Tomio Koyama Gallery
7. 二藤建人《私の愛は私の重さである 森の家族》2015年

■ 会場・交通案内

埼玉県立近代美術館

〒330-0061 さいたま市浦和区常盤 9-30-1 電話 048-824-0111

<http://www.pref.spec.ed.jp/momas/>

JR 京浜東北線北浦和駅西口より徒歩 3 分（北浦和公園内）。

JR 東京駅、新宿駅から北浦和駅まで、それぞれ約 35 分。

当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります（企画展観覧で 300 円引き、MOMAS コレクション観覧で 100 円引き）。

団体バスは事前にご相談ください。

お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。ただし台数に限りがありますので、予めご了承ください。

■ 問合せ先

埼玉県立近代美術館 展覧会担当：大浦、吉岡 広報担当：落合

電話 048-824-0111（代表）／048-824-0110（学芸部） FAX048-824-0118